

FMEA・DRBFM の基礎と効果的実践手法

日時: 2017年11月29日(水)10:30 ~ 16:30

会場: カメリアプラザ 9F 研修室【東京・江東区】

聴講料: 1名につき49,980円(税込、昼食、資料付)

会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき**47,250円**

・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,980円)**

大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

講師: 長岡技術科学大学大学院 技術経営研究科 システム安全専攻 准教授 博士(工学) 大塚 雄市 氏

[習得できる知識] 故障解析手法(FMEA, DRBFM)

システム安全, 安全性, 信頼性, 設計工学

トヨタ自動車で生まれた未然防止手法であるDRBFMは、トヨタ自動車の手法であるから素晴らしいわけではありません。その本質は、国際標準の安全性評価の考え方であるシステム安全の概念に合致しているからこそ、効果を発揮します。故障解析手法をシステム安全の概念から見直すことで、既存手法がなぜ形骸化するのか、形骸化に対応するためにどのような対応が必要なのかを、講義を通じてお話しします。故障解析手法の初心者の方を前提とした内容となっています。また、DRBFMの演習も行うことで、手法を実践的に修得することを目指した講演になっています。

1. 不具合防止はなぜ困難か

- 1-1. 不具合の原因分類から
- 1-2. リコール事例のデータ解析から
- 1-3. なぜ5回問えといわれるか
- 1-4. Stress-Strength model と故障モード

2. デザインレビューの基礎

- 2-1. 概念設計審査
- 2-2. 詳細設計審査
- 2-3. 最終設計審査
- 2-4. デザインレビューの課題
~ 形骸化、管理負担など ~

・長岡技術科学大学技術経営研究科システム安全専攻紹介

3. DRBFMについて

- 3-1. GD3 の考え方とリスクアセスメントの共通点
- 3-2. 要素機能の正常状態表現
- 3-3. 故障モード導出の論理
- 3-4. 故障解析, リスクアセスメントに本当に必要なもの
~ 不具合一覧表 ~
- 3-5. 影響度分類表
- 3-6. DRBFMの性能評価

4. FMEA・DRBFMシートの作成演習

(故障モード同定から対策の検討までの一連の流れを実践して、ワークシートの効率的な作成方法を学習する)

[質疑応答・名刺交換]

『FMEA・DRBFM』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
会員登録(無料)	案内方法を選択してください。複数選択可。		Eメール 郵送

セミナーの受講申込みについて
必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。
セミナーお申込み後のキャンセルは基本的に受け付けておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。
<https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>
個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
<https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>